

別紙②

◎平成 25 年度シンポジウムの開催実績

I 「復興農学 東日本大震災への土壌科学の貢献と課題」

1. 日 時 平成 25 年 9 月 13 日 (金) 13:00~17:00
2. 場 所 名古屋大学東山キャンパス IB 電子情報館大講義室
3. 主 催 日本学術会議 土壌科学分科会
4. 共 催 日本農学アカデミー、日本土壌肥料学会、
5. 内 容  
総合司会 日本学術会議会員 三枝 雅彦・木村真人  
話題提供

1. 「復興農学が目指すもの」 日本学術会議 宮崎 毅
2. 「宮城県の状況と土壌科学の課題」 東北大学 南條 正巳
3. 「福島県相馬市の津波被災地での営農再開における技術的対策」  
東京農業大学 後藤 逸男
4. 「飯館村 村学協同の除染村民の手による調査と除染の努力」  
福島再生の会 菅野 宗夫
5. 「支援農学者のコメント」 東京大学 溝口 勝
6. 「現地土壌におけるセシウム固定」 京都府立大学 中尾 淳
7. 「除染技術の高度化—セシウムの濃縮分析」  
(独)国際農林水産業研究センター(飯館村) 万福 裕造
8. 「汚染森林の管理の現状と課題」  
林野庁技術開発推進室長 中村 道人
9. キーノート・コメント  
(学術会議と復興農学) 日本学術会議 西澤 直子  
(復興と土壌科学) 日本土壌協会 松本 總  
(復興農学の国際発信) 東京大学 中西 友子  
(復興の真実) 東京大学名誉教授 森 敏
10. 閉会総括  
復興農学の実践に向けて  
日本学術会議土壌科学分科会会長 三輪 睿太郎

II 「人工光型植物工場の技術革新とビジネスモデル」

1. 日 時 平成 25 年 11 月 9 日(土) 13:00~17:00
2. 場 所 東京大学 弥生講堂
3. 主 催 日本農学アカデミー・(公・財)農学会
4. 内 容  
開会挨拶 日本農学アカデミー会長 三輪 睿太郎  
(1) 人工光型植物工場の進歩と今後の発展方向

- 日本農学アカデミー理事 千葉大学名誉教授 古在 豊樹
- (2) 人工光型植物工場とイノベーション  
大阪府立大学特認教授 村瀬 治比古
- (3) 人工光下の植物育成と光環境制御  
千葉大学教授 後藤 英司
- (4) 植物工場によるブルーベリーの周年生産  
東京農工大学農学部長 荻原 勲
- (5) 植物工場経営の現状と課題  
(株) スプレッド社長 稲田 信二
- (6) 植物工場のビジネスモデル  
日本総研 創発戦略センター主任研究員 三輪 泰史
- (6) 総合討論  
コーディネーター 三輪 睿太郎

### Ⅲ 「放射性物質の除染・汚染水漏洩の現状を問う！」

1. 日 時 平成 26 年 3 月 9 日(日) 13:00~17:30
2. 場 所 東京大学農学部弥生講堂
3. 主 催 日本農学アカデミー・(公・財)農学会
4. 内 容

- 開会挨拶 (公・財)農学会会長 會田 勝美
- (1) 「耕地等の除染の現状と課題」 東京大学教授 溝口 勝
- (2) 「森林汚染の現状と問題点」  
(独)森林総合研究所国土保全・水資源研究担当 高橋 正通
- (3) 「汚染水漏洩の現状と水産物の安全性」  
(独)水産総合研究センター研究推進部 森田 貴己
- (4) パネルディスカッション  
司会 東京大学農学部教授 黒倉 壽  
閉会挨拶 日本農学アカデミー会長 三輪 睿太郎